

社会的事象を新たな視点から見つめ理解を深める

〈活用のポイント〉本小單元では、先人の偉業（井沢弥惣兵衛の取組）を学習の対象とし進めていきます。見沼田んぼの開発により人々の生活が向上したことを学習した後に、見沼田んぼが生き物の生態を維持していることを調べることで、見沼田んぼの働きやその保全の大切さについて理解を深めることができます。

1 小單元名 4県内の伝統や文化、先人の働き（2）井沢弥惣兵衛と見沼の開発（9時間）

2 小單元の目標と評価規準

○井沢弥惣兵衛の働きについて、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地図などの資料で調べ、年表などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現することを通して、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにする。

○井沢弥惣兵衛の働きについて、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①当時の課題や人々の願いなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした井沢弥惣兵衛は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。	①当時の地域の課題や人々の願いなどに着目して、井沢弥惣兵衛の見沼代用水工事の様子を捉え、弥惣兵衛の働きを考え、表現する。 ②先人の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて考え、表現している。	①井沢弥惣兵衛の働きについて、予想や学習計画を立てたり、振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

3 小単元の指導計画と評価計画（9時間扱い）

	㊦ 数字：学習活動 ・学習内容 太字は「みどりと生き物」学習コンテンツの内容	評価の観点 内容 (方法)	資料
つ	① 1さいたま市PRキャラクター「つなが竜ヌウ」を調べる。 ・つなが竜ヌウの名称、役割 2 見沼田んぼの様子を調べる。 ・見沼田んぼの位置や様子 ・見沼の歴史	知 資料を基に、見沼の歴史について調べ、見沼年表に整理してまとめることで、つなが竜ヌウと見沼の関係を理解している。 (発言・ノート)	・ヌウぐるみ ・龍神伝説に関する書籍 ・見沼の写真 ・見沼年表
	② 1 井沢弥惣兵衛の経歴について調べ、学習問題を導き出す。 ・井沢弥惣兵衛の経歴 ・学習問題を導き出すこと	思 当時の地域の課題や人々の願いなどに着目して、井沢弥惣兵衛の見沼代用水工事の様子を捉え、弥惣兵衛の働きを考え、表現している。(発言・ノート)	・井沢弥惣兵衛の銅像写真 ・当時の地図
か	学習問題 井沢弥惣兵衛は、どのようにして今も残る「見沼田んぼ」をつくったのだろうか。		
	2 学習問題に対する予想や学習計画を考える。 ・学習問題に対する予想や学習計画を考えること	態 井沢弥惣兵衛の働きについて予想や学習計画を考え、主体的に学習問題を解決しようとしている。(発言・ノート)	

調 べ る	③④村の人達の願いや弥惣兵衛の見沼代用水の計画について、資料を基に調べる。 ・地域の人々の願いや努力（上流は大雨での洪水、日照りでの水不足。下流は溜井から用水への不安。） ・弥惣兵衛の働きや苦心（利根川から八丁堤まで60kmあること、土地の調査や簡単な道具での作業の苦労、わずか5ヶ月の工期）	知 当時の人々の生活の様子について各種の資料で調べ、地域の人の願いや努力について理解している。（ノート） 知 見沼代用水の計画について地図帳や各種の資料で調べ、井沢弥惣兵衛の苦心を理解している。（ノート）	・当時の人々の生活の様子 ・昔の工事の道具
	⑤⑥見沼代用水を引くために、弥惣兵衛が行った5つの工夫について、白地図にまとめる。 ・水量の多い利根川、星川の利用、川の立体交差、2つの見沼代用水（東縁・西縁）と芝川の役割、見沼通船堀 ・見沼代用水が台地の縁を流れていること ・当時の流れが、今もそのまま用水路になっていること	知 見沼代用水の流路について調べ、井沢弥惣兵衛による見沼代用水の工夫を理解している。（白地図・ノート）	・見沼代用水を描いた絵 ・見沼模型
ま と め る	⑦調べたことを基に学習問題の結論を導き出す。 ・学習問題の結論を導き出すこと	思 井沢弥惣兵衛の働きと地域の発展や人々の生活の向上を関連付けて考え、表現している。（発言・ノート） 態 井沢弥惣兵衛の働きについて振り返り、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。（発言・ノート）	
	学習問題の結論 井沢弥惣兵衛は、様々な方策を考え、村の人達の協力もあって、わずか半年で見沼代用水を完成させた。それにより、見沼を豊かな田に変え、村の人達が新しい田をもつことができた。		
生 か す	⑧見沼代用水以外の井沢弥惣兵衛の働きについて調べる。 ・鴻沼の開発など	知 見沼代用水以外の井沢弥惣兵衛の働きについて各種の資料で調べ、井沢弥惣兵衛の苦心や努力を理解している。（ノート）	
	⑨1見沼田んぼが今も残っている理由を考え、本時の学習課題を捉える。 ・「みどりと生き物」学習コンテンツ 見沼田んぼの様子（動画～1分30秒） ・見沼田んぼが今も残っている理由を考えること ・本時の学習課題を捉えること	見沼田んぼの働きについて、人々の生活の向上とは違う視点（生き物の生態維持）を学ぶことができます。	・「みどりと生き物」学習コンテンツ(3見沼田んぼの水辺と自然)
	学習課題 人口が増えてどんどんまちがつくられていったのに、なぜ見沼田んぼは今も残されているのだろうか。		
	2見沼田んぼを守るための人々の取組などを調べる。 ・「みどりと生き物」学習コンテンツ さまざまな生き物の住みかになっていること （動画～2分47秒） 見沼田んぼの保全活動（動画～5分2秒） 3本時のまとめを導き出す。	知 見沼の人々や生き物に対する働きについて各種の資料で調べ、見沼の環境を守る人々の努力を理解している。（ノート） 全員で一斉に視聴して調べることはもちろん、児童がそれぞれタブレット端末などで視聴して調べることも効果的です。	
本時のまとめ 見沼田んぼは、人々の生活に役立つだけでなく、さまざまな生き物にも大切な場所だから、人々の努力によって今も残されている。			